

戦 評 用 紙

平成26年度 県民総合体育大会兼埼玉県高等学校
バスケットボール新人大会

平成27年1月18日

会 場 上尾運動公園体育館

Aコート第3試合

対 戦	埼玉栄 高校	11	—	21	山村学園 高校
	54	16	—	25	89
		6	—	24	
		21	—	19	

決勝リーグ2勝し、新人関東大会出場を決めた両校の決勝戦。

第1P 両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。序盤から1進1退の攻防が続きロスコアの展開となる。山村学園は#4#9の速攻や#6の1対1で得点し、埼玉栄は#11の外、#5の合わせなどで返す。山村学園の#4#5の3pが決まった分リードし、強いディフェンスからの速攻が出て21-11山村学園リードで終了。

第2P 山村学園はリバウンドからの速攻でよく走り、#9#6のセンターが先頭をきって得点する。埼玉栄は#5が頑張り、リバウンドや外からと大車輪の活躍を見せる。山村学園は#5のキレキレドライブからのアシスト、連続バスカンで引き離す。要所で#9#6のゴール下への合わせが通り、#4が前半3本目の3pを沈め差が開く。埼玉栄も前半2回のタイムアウトで立て直しを図るが変わらず、46-27山村学園がリードを広げて終了。

第3P 山村学園は#7が3本連続で3pを決め、一気に30点差とする。埼玉栄は#9の3p#5の1対1で返すも、山村学園#7が4本連続この日5本目の3pを決め、差が開く。埼玉栄が攻めあぐねる中、山村学園は#9がリバウンド速攻ハイポストと4連続得点し、70-33大量リードで終了。

第4P 山村学園は徐々にメンバーを交代し、余裕を持ちながらゲームを進める。埼玉栄は#5#11が果敢に1対1を仕掛け得点するも体制は変わらず。終始リードを保ち、安定した強さを見せた山村学園が89-54で勝ち、優勝を決めた。

(記録者： 草加西高校 伊澤 暁)